

環境問題は私たちの生活や健康への影響を脅かす人権問題です。特に気候変動による影響は、その原因となっている自然破壊や公害問題の責任が少ない途上国の人々や貧困層に対して不均衡に集中する傾向にあります。地球規模の問題であり、私たち個人ができることは限られていますが、人権への影響があることを理解し、リサイクルや省エネルギーなどの意識を高くもつことが大切です。



## 私たちの健康を脅かす環境汚染問題

かつて日本の代表的な公害問題は、戦後の高度経済成長期に露わになった水俣病や四日市ぜんそく、光化学スモッグなど、工業地帯からの有害物質を含む大量の工場排水や排煙などが主な原因でした。その当時と比べると、現在は都会の空気も澄み、河川や近海の汚れも目立たなくなったように見えます。

しかし、わが国の近年の深刻な公害問題は“目に見えにくい”環境汚染が主です。その代表例として、マイクロプラスチックやPFAS(有機フッ素化合物)が挙げられます。マイクロプラスチックとは、直径が5mm以下のプラスチックのことです。人間が作った様々なプラスチック製品の使用中または使用後に環境中に放出され、紫外線や風、波などの影響で次第に細かくなります。肉眼で確認できないナノ(十億分の一)メートル単位の微細なプラスチックになると、長いあいだ大気中に漂い、呼吸を通じて私たちの肺の中にも入ってきます。

また、河川や海洋に流れ込んだマイクロプラスチックが魚介類などの体内に入り、それを食べる人間の体内にも蓄積していきます。(※1)(※2)体内に入ったマイクロプラスチックは、消化器系、免疫系、神経系、内分泌系に悪影響を及ぼす可能性があり、健康へのリスクが懸念されています。(※3)

さらに最近、わが国でもPFAS(有機フッ素化合物)による環境汚染が注目されています。全国の水道水・地下水・土壌から、高濃度で検出される事例が増えています。

本県でも昨年度の水質測定で、河川では17カ所中3カ所から、地下水では23カ所中8カ所から、国への報告下限値(5ng/L)を上回る値が検出されました。

近年、国際がん研究機関により「ヒトに対して発がん性がある」と認定され、胎児や乳児への影響も懸念されています。これらの人類が作り出した難分解性の化学物質による環境汚染を、私たちの暮らしの見直しや世界各国の協力により減らしていくことが重要な課題になっています。

本県でも、11月3日に「PFASとマイクロプラスチック～水環境汚染と私たちの暮らし～」と題する環境講演会が「ぴゅあ総合」(甲府市朝霞1-2-2)で開催されます。(※4)これらの問題に関心を持たれている方には、聴講をお勧めしたいと思います。



(※1) 朝日新聞 SDGs ACTION 「マイクロプラスチックとは？」  
<https://www.asahi.com/sdgs/article/15272644>



(※2) TBS NEWS DIG 「プラスチックの微粒子「年間3万個超」が体内に!」  
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/71449?display=1>



(※3) 海ラボ 「マイクロプラスチックが人体に与える影響」  
<https://lab.bluehub.jp/microplastics-human-health-impact/>



(※4) 環境講演会「PFASとマイクロプラスチック」  
(11月3日)参加申込サイト  
<https://forms.gle/7WYRewR8YfKn3fyQ6>

## 今後の予定

**人権啓発パネル展** 11月6日(木)～11月19日(水) 市立甲府病院、甲府市中道公民館にて、人権啓発パネル展を開催します。

## 活動報告

**人権啓発講演会** 10月2日(木) 甲府市庁舎において、「人権感覚を磨こう」と題して、人権啓発講演会を開催しました。

**人権移動教室** 9月26日(金) 甲府市立新田小学校、10月16日(木) 甲府市立西中学校において、人権移動教室を開催しました。



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ  
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史  
理事長：横山美香

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室  
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. [yamanashi@yihrc.or.jp](mailto:yamanashi@yihrc.or.jp)

<協賛>  
山梨県  
甲府市  
甲斐市

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

山梨県内中学一年生男子

杉藤先生、今日は授業をしてくださり、ありがとうございます。今まで人権とはどんなものでしょうか、必要なのかと沢山の疑問がありました。でも、おはなしをきいてみると、ありがとうございました。それに、先生の話し方が上手で、とても吸収できました。こまけていく気がしました。私も、心の底には自分がよければそれでいいという考えがあると思います。そんな中、先生の「自分の事だけを考えるのは努力がたりない」という言葉に心を動かされました。前の私は、席をゆわろうとして、一歩がふみ出せませんでした。でも、今はちがいます。この話、言葉をきいて、なにも行動できないが、たまたま、本当にはあかしくない人だと思いません。先生の体験のほなしもきいて、さ、とすばらしいことか、できる大人になりました。いと、おはな思いました。大人になるまで、まだ時間があります。そのおはなされて、いる時間、人生でなにができるかをよく考えて、これからすごしていきたいと思います。

山梨県内中学一年生男子

杉藤先生、今回はお話いただきありがとうございます。僕はずっと「人権」は人として生きていく権利だと思っていました。しかし、杉藤先生の話を聞いて、人権とは自分の命を大切に、自分の幸せを大切にすることだと知れました。自分の幸せと人権の中に書いてあります。この幸せというものは、自分一人が幸せになることではないかと思いましたが、相手も幸せになることが幸せになることではないかと思いましたが、それは自分だけが幸せになることではなく、自分勝手になり、周りの人は嫌な気持ちになります。そうなので、周りの人は幸せではないので、人権として効果がでていません。僕は、このことから、全員が自分が幸せになるには、他人を尊重することが必要だと思いました。